

# 嘉手納 深夜の騒音

## 町に基地の苦情相次ぐ

26日、3、13  
沖夕

【嘉手納】米軍嘉手納基地の周辺地域で11日の深夜から12日未明にかけ、同基地所屬の航空機による騒音被害の苦情が相次いだ。

嘉手納町（當山宏町長）は12日、沖縄防衛局と同基地第18航空団に、午後10時以降の運用を制限する航空機騒音規制措置（騒音防止協定）の順守を文書で求めた。

苦情の電話は11日の午後10時すぎから12日午前0時すぎまでに8件あった。町中央区の住民が中心で、「2時間以上も爆音が続いている」「や」「常軌を逸している。人権無視の横暴だ」などの苦情があった。基地渉外課職員は「深夜にこれほど苦情が寄せられるのは珍しい」と話す。

嘉手納町によると、町役場と屋良地区では11日午後10時から翌午前6時までに80デシベル以上が3回、70デシベル以上を30回計測。午後9時半ご

ろには約2分間、83デシベルを測定した。70デシベル後半の騒音は、1分以内で電話のベルが鳴る音以上とされている。當山町長は「多くの住民の睡眠が妨げられている。航空騒音規制措置を順守してほしい」と求めた。